

令和6年度地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）対象事業の検証について

No.	1	事業名 (計画年度)	移住促進地域活力創造事業 (令和6年度)		担当課	市民協働推進課
総合戦略の 位置づけ			基本目標	2 「ひと」の流れづくり		
			施策の基本的方向	東京圏等からの移住・定住と市民の市内定着・回帰及び関係人口の創出・拡大		
事業概要			本市の魅力を広く周知するため、移住体験施設入居者による情報発信、移住定住サブサイトの活用による啓発活動や、移住希望者お試し滞在補助金による宿泊費の補助を行い、市の魅力ある居住環境についてPRする。本市の人口減少を抑え、定住人口を増やすことによる地域活性化を目的として、住宅を取得し、市外から転入する人に助成金を交付する。			
令和6年度 総事業費			38,406,800 円	寄附額 (件数)	5,283,722 円 (1件(基金残))	
				充当額	5,283,722 円	
主な取組			本市に移住し、創業をする方を対象とする「長期滞在型移住体験施設」を開設し、空き家の利活用と、新たな創業による地域活性化を推進した。			
			移住希望者お試し滞在補助金による宿泊費の補助を行い、市の魅力ある居住環境についてPRを行った。			
			また、市外から転入する方に住宅取得費用の補助を行い、定住促進を図った。			
重要業績評価 指標 (KPI①)			指標	県外からの転入者数		
			目標値 (R6)	912 人		
			実績値 (R6)	1,020 人		
重要業績評価 指標 (KPI②)			指標	移住相談数		
			目標値 (R6)	450 件		
			実績値 (R6)	107 件		
重要業績評価 指標 (KPI③)			指標	本事業 (SCB ふるさと応援団計画内容に係る移住滞在施設事業、デジタルサイネージ掲出事業、移住者住宅支援事業) に対する問合せ数		
			目標値 (R6)	15 件		
			実績値 (R6)	38 件		
重要業績評価 指標 (KPI④)			指標	移住定住サブサイト閲覧数		
			目標値 (R6)	11,000 PV (ページビュー)		
			実績値 (R6)	5,089PV		

重要業績評価 指標（KPI⑤）	指標	移住者住宅支援事業助成金利用者数
	目標値（R6）	100 件
	実績値（R6）	108 件
事業効果 ※選択肢 ① 地方創生に非常に効果的であった ② 地方創生に相当程度効果があった ③ 地方創生に効果があった ④ 地方創生に対して効果がなかった		③ 地方創生に効果があった
事業効果 の選択理 由等	本事業は、移住相談を始めとする移住支援から移住後のサポートまで、各種移住定住支援制度を展開し、人口減少の抑制、移住者の定住化に資するものである。 移住定住サブサイトの閲覧件数や移住相談数が目標値を下回ったものの、転入者数、本事業に対する問合せ数、移住者住宅支援事業助成金利用者数の目標は達成したことから、「③ 地方創生に効果があった」とした。	
実績値を 踏まえた 事業の今 後につい て	今後の方針 ※選択肢 ① 追加等更に発展させる ④ 事業の中止 ② 事業の見直し(改善) ⑤ 予定どおり事業終了 ③ 事業の継続	
	理 由	移住定住サブサイトについては開設から3年目を迎え、実績が下がりつつあるため、更新頻度や活用促進を通じ、より多くの方に見てもらえるよう工夫していくこととする。また、令和6年度から、市内への移住定住施策として新たに若者向けの地方就職支援金（国主催事業）及び県外通学学生応援事業を開始した。今後も若者向けの支援を手厚く行い、転出抑制、転入促進を同時に推進し、人口減少対策を実施していく。
外部有識 者からの 意見	効果の 検証	近年転入者が増加傾向にあり、令和6年度も転入者数の目標を達成したことは、事業の大きな成果であると評価できる。人口減少対策として、効果が高い事業だと思われるので、更なる展開を期待したい。
	今後の 取組方 針	移住相談から移住後のサポートまでの各種移住定住支援制度を展開するとともに、移住定住サブサイトの充実など渋川市の魅力に係る情報発信を強化することで、より効果の高い事業とされたい。